

東京モノレールの全駅で「新旅客案内システム」による 多言語情報提供を開始します

東京モノレール株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：小栗彰）は、2019年3月15日（金）より、「新旅客案内システム」による多言語情報提供を開始します。

当社では訪日外国人のお客さまの増加に伴い、多言語案内充実のため、昨年11月より全駅改札に携帯通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）W」を導入しておりますが、より多くのお客さまに情報を発信できるよう、各駅の改札口付近にデジタルサイネージを設置し、文字と音声、映像による情報提供を行います。

1. 開始日

2019年3月15日（金）

2. 設置箇所

東京モノレール羽田空港線 全駅設置



画面イメージ

3. サービス概要

改札口に設置したデジタルサイネージにおいて、日本語・英語・中国語（簡体字）・中国語（繁体字）・韓国語での自動放送と、それぞれの放送案内に合わせたテロップ、画像を配信します。

異常時には社員が専用のタブレットを操作し、事前に設定したメッセージを状況に合わせて配信します。

また、平常時においても利用マナーのお願いや、沿線案内、イベント開催案内などの情報を配信します。

東京モノレールは、海外からのお客さまをはじめ、すべてのお客さまに安心してご利用いただけるよう、サービス品質向上に努めてまいります。